

令和4年6月15日
豊岡市商工会

豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(令和4年4月～6月期実績、令和4年7月～9月期見通し)

《1》 調査時点 令和4年6月3日

《2》 調査対象

調査依頼先
150企業

有効回答数
139企業 (回答率92%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	
製造業	27	2	2	3	3	10	8	8	8	4	3	24
建設業	26	2	2	3	3	13	12	5	5	3	3	25
小売業	33	9	9	2	2	11	9	9	8	2	2	30
飲食業	22	7	6	2	2	6	6	6	5	1	1	20
宿泊業	20	8	8	5	4	7	6	0	0	0	0	18
サービス業	22	2	2	2	2	12	12	3	3	3	3	22
合計	150	30	29	17	16	59	53	31	29	13	12	139

《3》 調査項目

- ①売上高 ②仕入単価 ③採算性 ④資金繰り ⑤景況感
⑥従業員の人数 ⑦直面している経営上の問題 ⑧今後取り組んでいきたいこと
⑨原材料の不足や高騰の影響 ⑩その具体的な内容

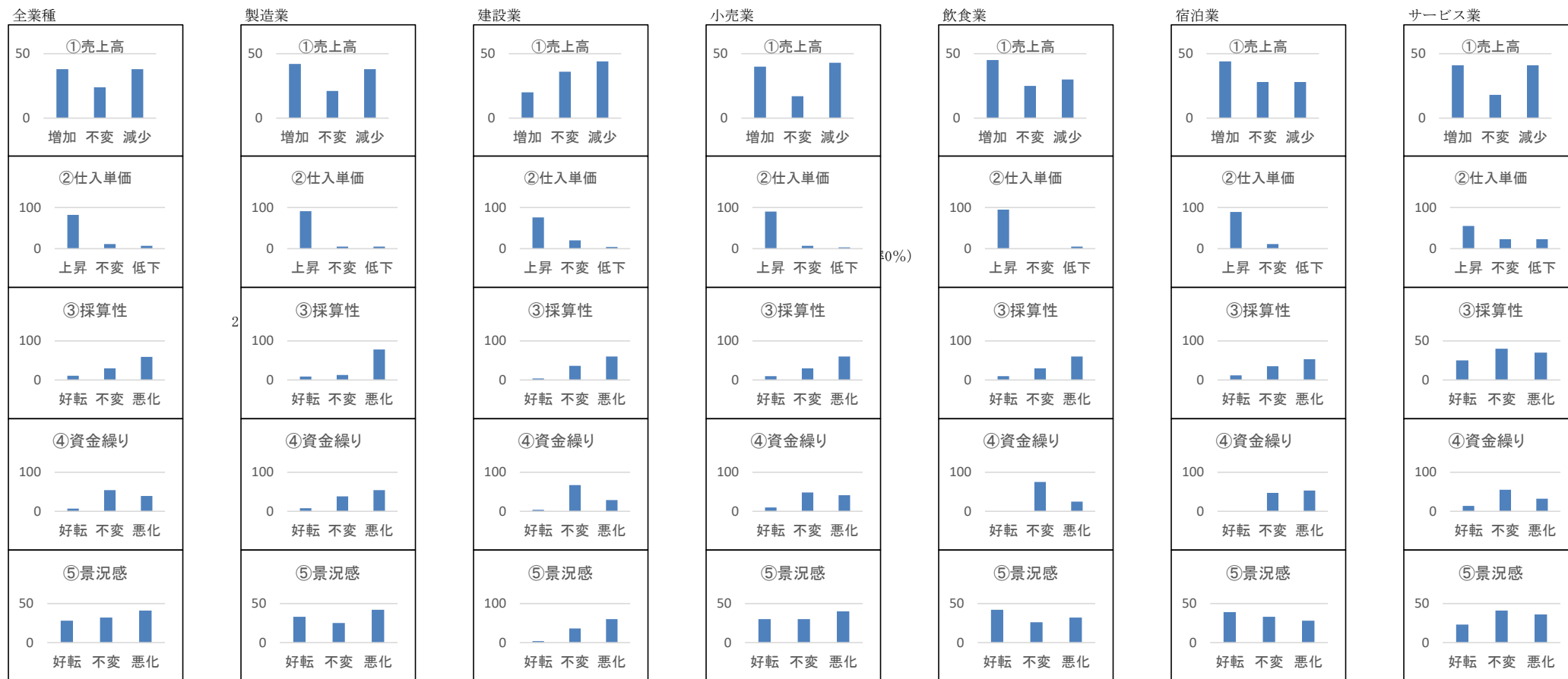
【令和4年4～6月期実績】

(1)	全業種の売上高DIは、(前期▲42→) ▲10 (前期比32ポイント上昇) となりマイナス幅が縮小した。
	業種別売上高DIは、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業でポイントが上昇し前期から改善した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、(前期51→) 74 (前期比43ポイント上昇) となりプラス幅が拡大した。
	業種別仕入単価DIは、製造業、建設業、小売業、飲食業、サービス業でポイントが上昇した。
(3)	全業種の採算性DIは、(前期▲65→) ▲50 (前期比15ポイント上昇) となりマイナス幅が縮小した。
	業種別採算性DIは、全業種マイナス域であるが前期よりマイナス幅が縮小した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、(前期▲41→) ▲31 となり (前期比10ポイント上昇) となりマイナス幅が縮小した。
	業種別資金繰りDIは、全業種マイナス域であるが宿泊業以外の業種でポイントが上昇した。
(5)	全業種の景況感DIは、(前期▲57→) ▲18 (前期比39ポイント上昇) となりマイナス幅が縮小した。
	業種別の景況感DIは、全業種マイナス域であるが前期よりマイナス幅が縮小した。

【令和4年7～9月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、0 となり 10ポイントプラス幅が拡大する見通し。
	業種別売上高DIは、製造業、建設業、飲食業、宿泊業、サービス業が上昇し、小売業は低下する見通し。
(2)	全業種の仕入単価DIは、71 となり 3ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別仕入単価DIは、宿泊業、サービス業が上昇し、製造業、建設業、小売業、飲食業で低下する見通し。
(3)	全業種の採算性DIは、▲47 となり 3ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別採算性DIは、製造業、飲食業、宿泊業が上昇し、建設業、小売業が低下、サービス業は横ばいの見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲38 となり 7ポイントマイナス幅が拡大する見通し。
	業種別の資金繰りDIは、宿泊業、サービス業が上昇し、製造業、建設業、小売業、飲食業は低下する見通し。
(5)	全業種の景況感DIは、▲18 となり横ばいの見通し。
	業種別の景況感DIは、小売業と宿泊業が上昇し、製造業、建設業、飲食業、サービス業が低下する見通し。

【1】前年同期比
前年同期（令和3年4月～6月）と比べた今期（令和4年4月～6月）の状況



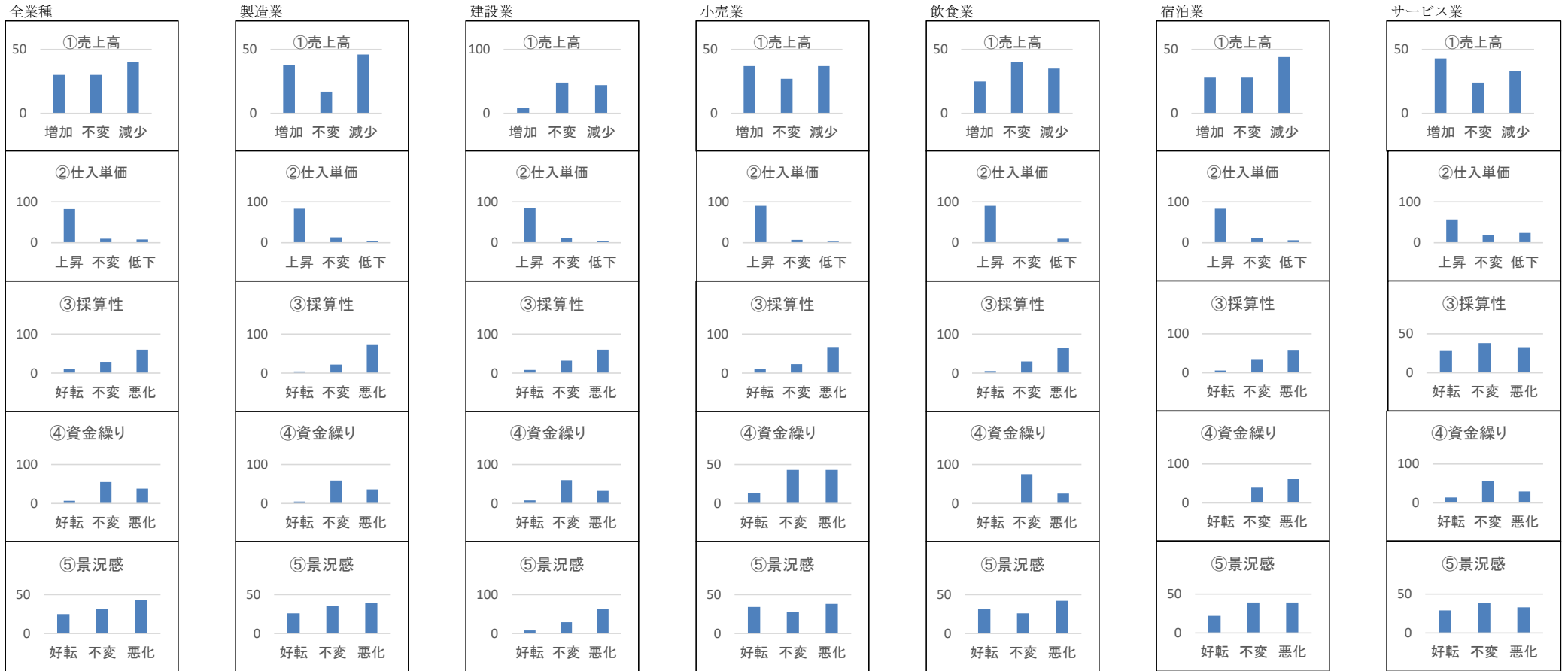
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	0	4	▲ 24	▲ 3	15	16	0
仕入単価	75	86	72	87	90	89	32
採算性	▲ 48	▲ 69	▲ 56	▲ 50	▲ 50	▲ 41	▲ 10
資金繰り	▲ 32	▲ 46	▲ 25	▲ 31	▲ 25	▲ 53	▲ 18
景況感	▲ 13	▲ 9	▲ 56	▲ 10	10	11	▲ 13

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比

前期（令和4年1月～3月）と比べた今期（令和4年4月～6月）の状況



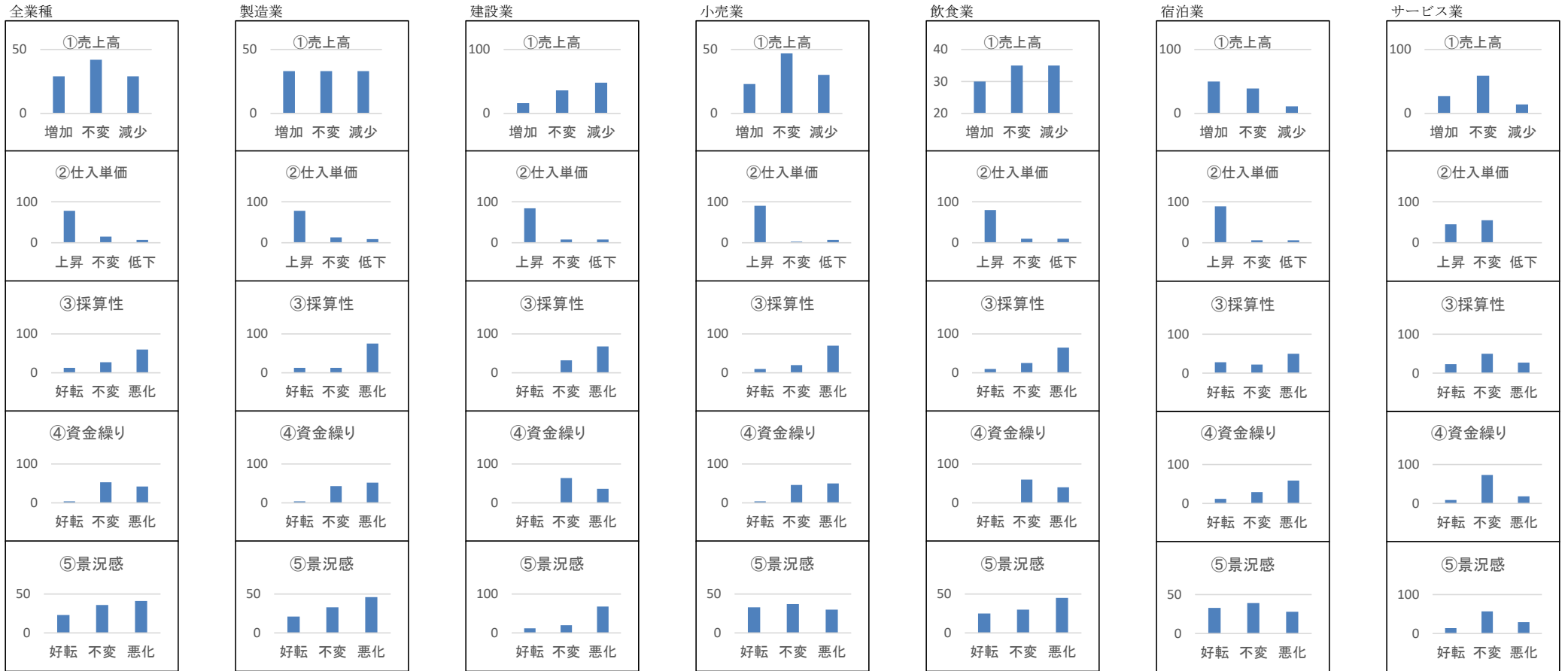
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 10	▲ 8	▲ 36	0	▲ 10	▲ 16	10
仕入単価	74	79	80	87	80	77	33
採算性	▲ 50	▲ 70	▲ 52	▲ 57	▲ 60	▲ 53	▲ 4
資金繰り	▲ 31	▲ 31	▲ 24	▲ 30	▲ 25	▲ 61	▲ 15
景況感	▲ 18	▲ 13	▲ 55	▲ 4	▲ 10	▲ 17	▲ 4

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】来期の見通し

今期（令和4年4月～6月）と比べた来期（令和4年7月～9月）の見通し

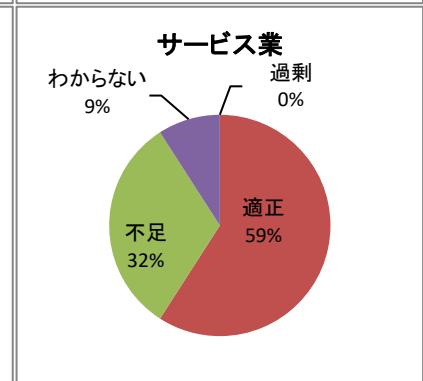
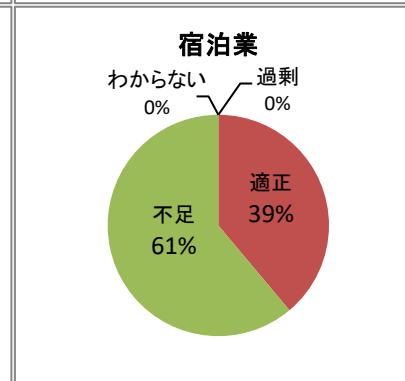
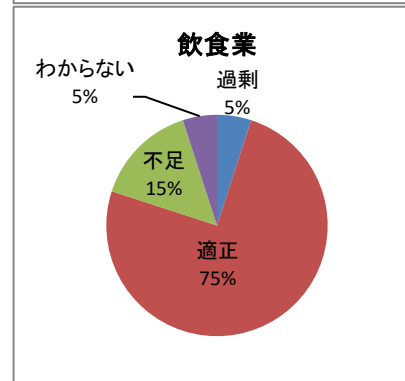
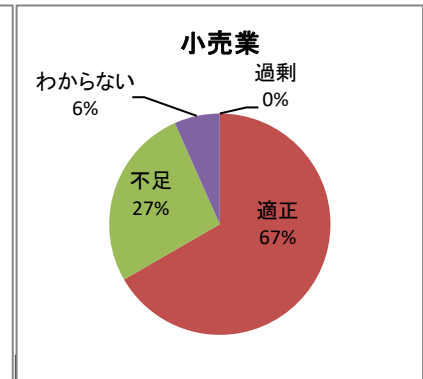
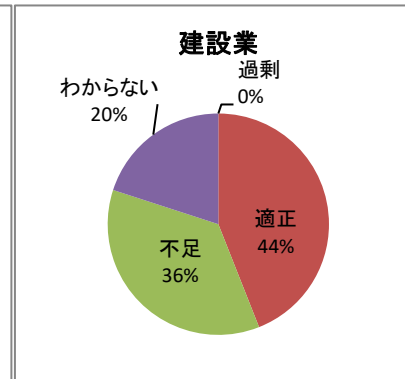
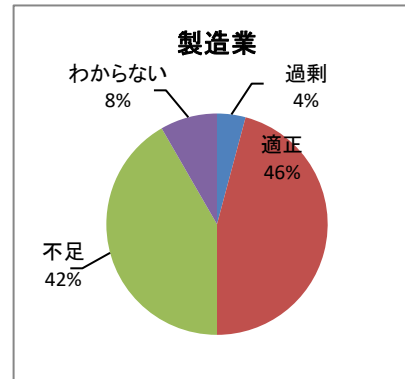
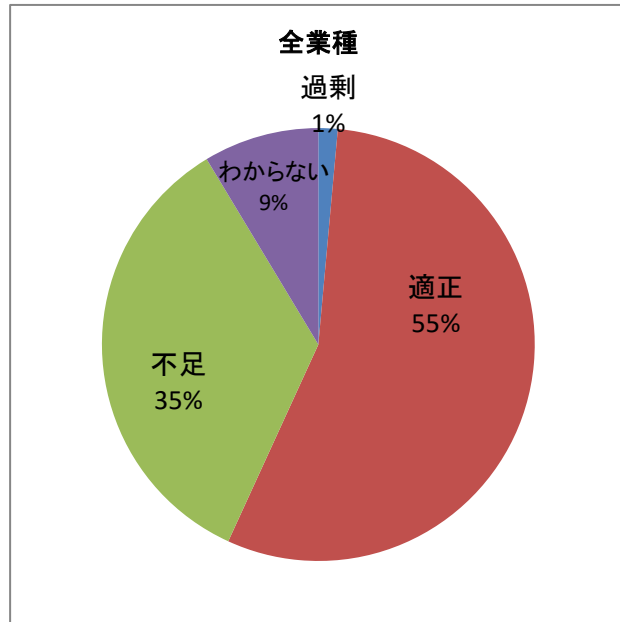


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	0	0	▲ 32	▲ 7	▲ 5	39	13
仕入単価	71	69	76	83	70	83	45
採算性	▲ 47	▲ 62	▲ 68	▲ 60	▲ 55	▲ 22	▲ 4
資金繰り	▲ 38	▲ 48	▲ 36	▲ 46	▲ 40	▲ 47	▲ 9
景況感	▲ 18	▲ 25	▲ 56	3	▲ 20	5	▲ 15

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】従業員（臨時・パート含む）の人数について



今期（R4.1～3）

⑥従業員の人数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
過剰	2	1.4%	1	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%
適正	77	55.4%	11	45.8%	11	44.0%	20	66.7%	15	75.0%	7	38.9%	13	59.1%
不足	48	34.5%	10	41.7%	9	36.0%	8	26.7%	3	15.0%	11	61.1%	7	31.8%
わからない	12	8.6%	2	8.3%	5	20.0%	2	6.7%	1	5.0%	0	0.0%	2	9.1%
合計	139		24		25		30		20		18		22	

対前期比（R3.10～12）

⑥従業員の人数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減
過剰	2.1%	-1.1	4.2%	0.0	0.0%	0.0	3.0%	-3.0	4.5%	0.5	0.0%	0.0	0.0%	0.0
適正	57.9%	-2.9	66.7%	-20.9	39.1%	4.9	60.6%	6.1	72.7%	2.3	41.2%	-2.3	61.9%	-2.8
不足	32.9%	2.1	20.8%	20.9	47.8%	-11.8	24.2%	2.5	22.7%	-7.7	58.8%	2.3	33.3%	-1.5
わからない	7.1%	82.9	8.3%	0.0	13.0%	7.0	12.1%	-5.4	0.0%	5.0	0.0%	0.0	4.8%	4.3

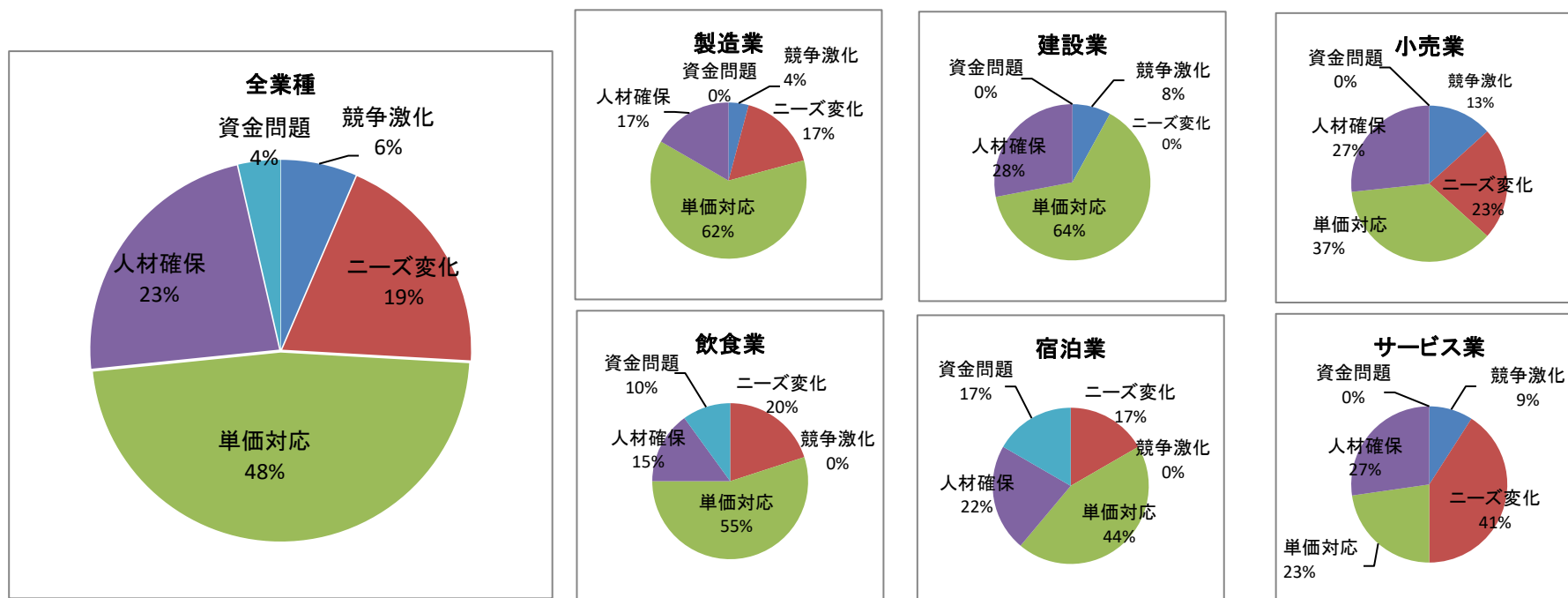
【実績】

- ・従業員の人数が「過剰」と認識している経営者は、「製造業」、「飲食業」で見られる。また、前期比較では「飲食業」、「サービス業」でポイント増加しており、「建設業」、「宿泊業」ではポイントの増減がなく、「製造業」、「小売業」はポイント減少している。
- ・従業員の人数が「適正」と認識している経営者は、「飲食業」、「小売業」、「サービス業」の順が多い。また、前期比較では「建設業」のでポイント増加幅が大きく、「飲食業」、「小売業」、「サービス業」の順でポイント減少幅が大きい。
- ・従業員の人数が「不足」と認識している経営者は、「宿泊業」、「製造業」、「建設業」の順が多い。また、前期比較では「サービス業」、「製造業」の順でポイント増加幅が大きく、「建設業」、「飲食業」の順でポイント減少幅が大きい。

業種別で「適正」の割合が高いのは「飲食業」、「小売業」であり、「不足」の割合が最も高いのは「宿泊業」であった。

○全体では「適正」の割合が57.5%と最も高いが、「宿泊業」「建設業」では「不足」の割合が高く、人数確保の課題は改善できていない。

【5】直面している経営上の問題点について



今期 (R4.1~3)

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
大手企業(大型店)進出、インターネット普及による販売競争の激化	9	6.5%	1	4.2%	2	8.0%	4	13.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	9.1%	競争激化
消費者(製品)ニーズ変化への対応	27	19.4%	4	16.7%	0	0.0%	7	23.3%	4	20.0%	3	16.7%	9	40.9%	ニーズ変化
仕入単価(原材料)の上昇、販売受注単価の低下	66	47.5%	15	62.5%	16	64.0%	11	36.7%	11	55.0%	8	44.4%	5	22.7%	単価対応
必要な人材の雇用確保	32	23.0%	4	16.7%	7	28.0%	8	26.7%	3	15.0%	4	22.2%	6	27.3%	人材確保
事業資金の借入難	5	3.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	10.0%	3	16.7%	0	0.0%	資金問題
合計	139		24		25		30		20		18		22		

対前期比（R3.10～12）

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	10.6%	-4.1	4.2%	0.0	0.0%	8.0	33.3%	-20.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	14.3%	-5.2	競争激化
消費者（製品）ニーズ変化への対応	22.0%	-2.6	25.0%	-8.3	12.5%	-12.5	24.2%	-0.9	18.2%	1.8	5.9%	10.8	42.9%	-2.0	ニーズ変化
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	35.5%	12.0	50.0%	12.5	41.7%	22.3	12.1%	24.6	54.5%	0.5	58.8%	-14.4	9.5%	13.2	単価対応
必要な人材の雇用確保	27.0%	-4.0	12.5%	4.2	37.5%	-9.5	27.3%	-0.6	18.2%	-3.2	35.3%	-13.1	33.3%	-6.0	人材確保
事業資金の借入難	5.0%	-1.4	8.3%	-8.3	8.3%	-8.3	3.0%	-3.0	9.1%	0.9	0.0%	16.7	0.0%	0.0	資金問題

「大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化」に直面している経営者の割合は、「小売業」が最も高く、「建設業」、「宿泊業」が順で続く。また前期比較では「建設業」でポイント増加幅が大きく、「小売業」、「サービス業」の順でポイント減少幅が大きい。

「消費者（製品）ニーズ変化への対応」に直面している経営者の割合は、「サービス業」が特に高く、「小売業」、「飲食業」、「宿泊業」が順に続く。また前期比較では、「宿泊業」でポイント増加幅が大きく、「建設業」、「製造業」の順でポイント減少幅が大きい。

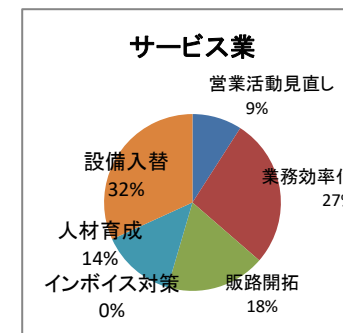
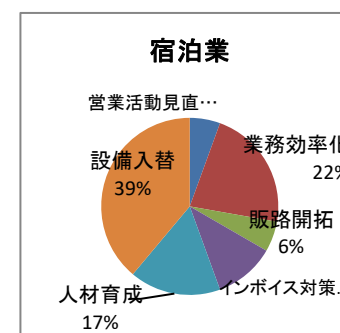
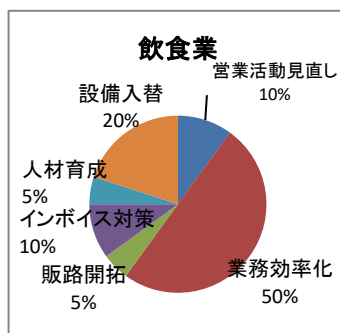
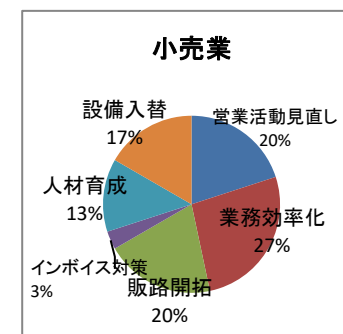
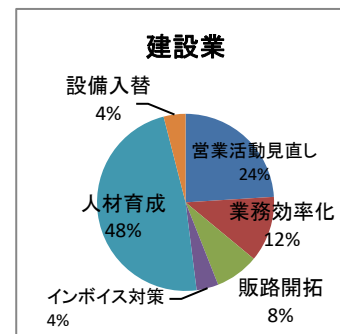
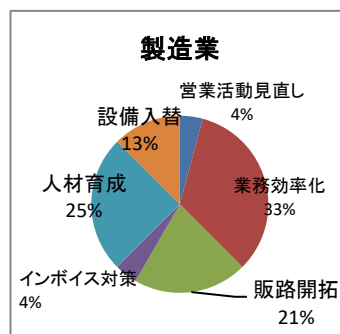
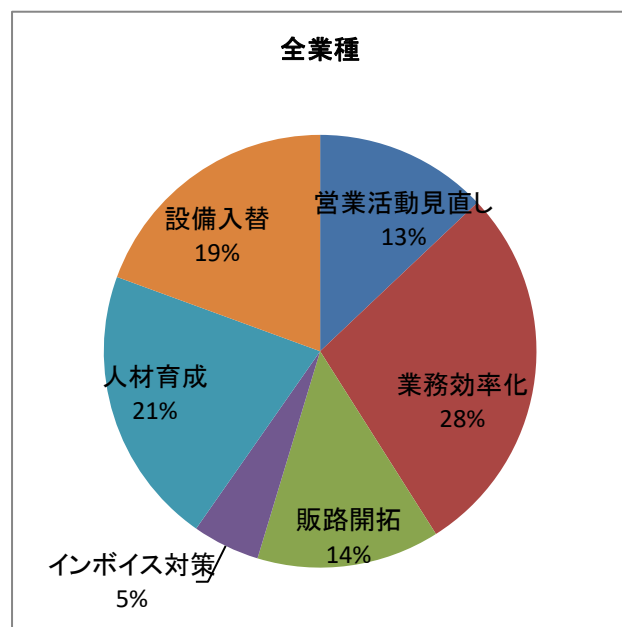
「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」に直面している経営者の割合は、「建設業」、「製造業」「飲食業」「宿泊業」の順に多い。また前期比較では、「小売業」、「建設業」、「製造業」の順でポイント増加幅が大きく、「宿泊業」のポイント減少幅が大きい。

「必要な人材の雇用確保」に直面している経営者の割合は、「建設業」が最も高く、「宿泊業」、「小売業」が順で続く。また前期比較では、「製造業」のみポイント増加しており、「サービス業」、「製造業」、「飲食業」の順でポイント減少幅が大きい。

「事業資金の借入難」に直面している経営者の割合は、「小売業」、「建設業」、「サービス業」の順で高い。また前期比較では、「宿泊業」、「製造業」の順でポイント増加し幅が大きく、「宿泊業」、「建設業」、「サービス業」の順でポイント減少幅が大きい。

○原油価格の高騰、原材料価格の高騰、人件費の高騰等の影響から「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が全体の1位（約47.5%）であり前回の約39.7%から7.8%増加している。また今後も様々なものが値上がりすることが予想されており、利益確保のために価格転嫁が必要となっている。

【6】今後、取り組んでいきたいこと



今期 (R4.1~3)

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	18	12.9%	1	4.2%	6	24.0%	6	20.0%	2	10.0%	1	5.6%	2	9.1%
業務の効率化、仕事の見える化	39	28.1%	8	33.3%	3	12.0%	8	26.7%	10	50.0%	4	22.2%	6	27.3%
販路開拓 (商談会・展示会・プレスリリース等)	19	13.7%	5	20.8%	2	8.0%	6	20.0%	1	5.0%	1	5.6%	4	18.2%
インボイス制度対策、会計管理の見直し	7	5.0%	1	4.2%	1	4.0%	1	3.3%	2	10.0%	2	11.1%	0	0.0%
人材育成、社員教育	29	20.9%	6	25.0%	12	48.0%	4	13.3%	1	5.0%	3	16.7%	3	13.6%
設備の入替・更新	27	19.4%	3	12.5%	1	4.0%	5	16.7%	4	20.0%	7	38.9%	7	31.8%
合計	139		24		25		30		20		18		22	

営業活動見直し
業務効率化
販路開拓
インボイス対策
人材育成
設備入替

対前期比（R3.10～12）

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	14.3%	-1.4	0.0%	4.2	8.3%	15.7	27.3%	-7.3	4.5%	5.5	12.5%	-6.9	28.6%	-19.5	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	27.1%	1.0	37.5%	-4.2	29.2%	-17.2	21.2%	5.5	36.4%	13.6	12.5%	9.7	23.8%	3.5	業務効率化
販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）	7.9%	5.8	8.3%	12.5	8.3%	-0.3	15.2%	4.8	0.0%	5.0	12.5%	-6.9	0.0%	18.2	販路開拓
インボイス制度対策、会計管理の見直し	5.7%	-0.7	8.3%	-4.1	0.0%	4.0	9.1%	-5.8	13.6%	-3.6	0.0%	11.1	0.0%	0.0	インボイス対策
人材育成、社員教育	20.7%	0.2	29.2%	-4.2	41.7%	6.3	12.1%	1.2	9.1%	-4.1	6.3%	10.4	23.8%	-10.2	人材育成
設備の入替・更新	24.3%	-4.9	16.7%	-4.2	12.5%	-8.5	15.2%	1.5	36.4%	-16.4	56.3%	-17.4	23.8%	8.0	設備入替

「既存顧客のリスト化、営業活動の見直し」を検討している経営者の割合は、「建設業」、「小売業」で高い。また前期比較でも、「建設業」、「小売業」でポイント増加幅が大きい。

「業務の効率化、仕事の見える化」を検討している経営者の割合は、「飲食業」、「製造業」、「小売業」の順で高い。また前期比較では、全業種でポイント増加している。

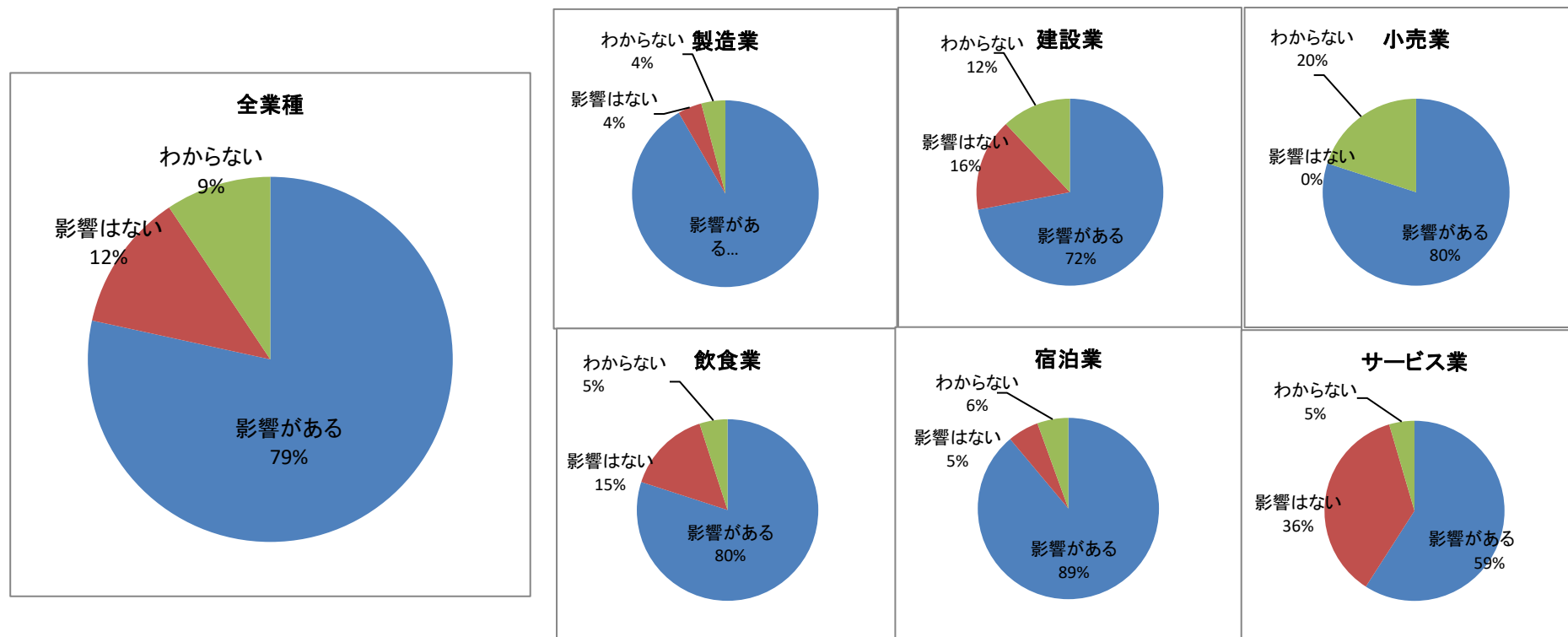
「販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）」を検討している経営者の割合は、「製造業」、「小売業」の順で高い。また前期比較では、「製造業」、「小売業」、「サービス業」の順でポイント増加幅が大きい。

「インボイス制度対策、会計管理の見直し」を検討している経営者の割合は、「飲食業」、「宿泊業」で高い。なお、今期からの調査となるため前期比較はできない。

「人材育成、社員教育」を検討している経営者の割合は、「建設業」、「製造業」、「小売業」の順で高い。また前期比較では、「宿泊業」、「建設業」の順でポイント増加幅が大きく、「サービス業」、「製造業」、「飲食業」の順でポイント減少幅が大きい。

「設備の入替・更新」を検討している経営者の割合は、「宿泊業」、「飲食業」、「小売業」の順で高い。また前期比較では、「サービス業」、「小売業」の順でポイント増加幅が大きく、「飲食業」、「宿泊業」、「建設業」の順でポイント減少幅が大きい。

【7】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰の影響はありますか？



今期 (R 4. 1 ~ 3)

⑨原材料の不足や高騰の影響はありますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	
影響がある	109	78.4%	22	91.7%	18	72.0%	24	80.0%	16	80.0%	16	88.9%	13	59.1%	影響がある
影響はない	17	12.2%	1	4.2%	4	16.0%	0	0.0%	3	15.0%	1	5.6%	8	36.4%	影響はない
わからない	13	9.4%	1	4.2%	3	12.0%	6	20.0%	1	5.0%	1	5.6%	1	4.5%	わからない
合計	139		24		25		30		20		18		22		

【8】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰について「影響がある」とご回答いただいた方について、その具体的な内容。

1	原材料の高騰を販売価格に転嫁できない。（日高・製造業）
2	為替が円安に振れるほど基本的に材料単価が上昇し、再三の顧客への価格転嫁が難しくなる。（日高・製造業）
3	材料が海外から入るので、不安が有る（日高・製造業）
4	木材を筆頭に今や全てが尋常でない価格にまで高騰している上、まだ上昇しそうである（日高・建設業）
5	4月～6月に材料の値上げの案内が多くあり、実際にまだ購入していないものもあるが、その数と値上げ幅が大きい。（日高・建設業）
6	一見関係ないように見える物でも途中途中の段階で影響し、最終的に値上げになっている（日高・飲食業）
7	仕入れ商品の価格が全部15%以上、上昇。ここで踏みとどまる気配がないことが懸念される（日高・製造業）
8	仕入先が内容量を変更して販売。紡績関係の原材料も高騰。すべてにおいて上昇傾向だが、簡単に価格転嫁できない。（日高・小売業）
9	木材、鉄製品が高騰しており見積もりが適正にできない状況（日高・建設業）
10	主力商品である酒類、飲料水、調味料のメーカー値上げ（城崎・小売業）
11	原材料、消耗品が10～15%以上高騰しているが、小売り価格に反映させることが出来ない（城崎・小売業）
12	水道光熱費。特に給湯用ボイラーの重油代の高騰の影響が大きい。また、仕入の材料、並びに調味料等の値上げも少なからず影響があり、今後の値上がり次第では宿泊料の値上げも検討せざるを得ない状況にある。（城崎・宿泊業）
13	材料の仕入れ値が10%上がった。（城崎・飲食業）
14	小麦価格などの上昇（出石・飲食業）
15	納品が希望通りに行かないこともあり、仕事の遅れが生じることがある。（出石・建設業）
16	光熱費の高騰。今後、仕入れも価格も上がる。（出石・サービス業）
17	土産品小売り販売なので仕入額増は販売価格の増になり購買意欲の減に繋がる。よって売上げが減額する恐れがある。（城崎・小売業）

18	飲食業はほとんどすべての材料が値上がりしているが販売価格に転嫁できない。更にコロナ感染対策で座席の間隔をあけたため基本的に収容人数が減り、その上相席も出来ないので売り上げが全く上がらない。（城崎・飲食業）
19	運送費の高沸による仕入価格の値上げ（竹野・小売業）
20	原料肉の高騰、調味料等、資材の値上げ（出石・小売業）
21	納期ジャンプが生じている（出石・製造業）
22	油の値上げによる、運送費が上がり、商品の値上げに影響している。戦争の影響により、にしん等の価格が上昇している。また、かつお節や昆布等の値上げもあり、原価率が上昇している。（出石・飲食業）
23	原油の高騰により製品の原料単価が上がる。（但東・製造業）
24	原料はともかく電気料金やガソリン代の高騰で採算が合わない。（但東・製造業）
25	仕入価格が高くなれば販売価格も高くなるなど影響あり（但東・サービス業）
26	製品自体の材料以外にも梱包資材や運賃（燃料）等、あらゆるものが値上りしたり、上海のロックダウンによる物流が不安定。（日高・製造業）
27	材料仕入れ単価の高騰による、採算性悪化への影響が表れ始めている（日高・建設業）
28	メーカーで欠品して、手に入らない物がめだつようになった。（日高・サービス業）
29	仕入れ商品の高騰（日高・サービス業）
30	商品価格に転嫁しづらい。（城崎・製造）
31	家電品・機械等品不足 材料高騰（竹野・建設業）
32	温泉燃料費 灯油価格の高騰（日高・サービス業）
33	原材料は急激に高騰するものの、商品に上乘せできず、利益が薄く経営状況に悪影響があります。（出石・製造業）
34	外国から資材を輸入しているものは高騰や納期の遅れが出ています。（城崎・小売業）
35	木材・鋼材等殆どの資材が度々高騰するため、見積を何回もしなければならない。又、設備機器等については半導体の関係で納期がはっきりしないため工程が組みにくい。（但東・建設業）
36	仕入れ単価の高騰により売上利益が減少。納期の遅延。（城崎・建設業）（城崎・宿泊業）

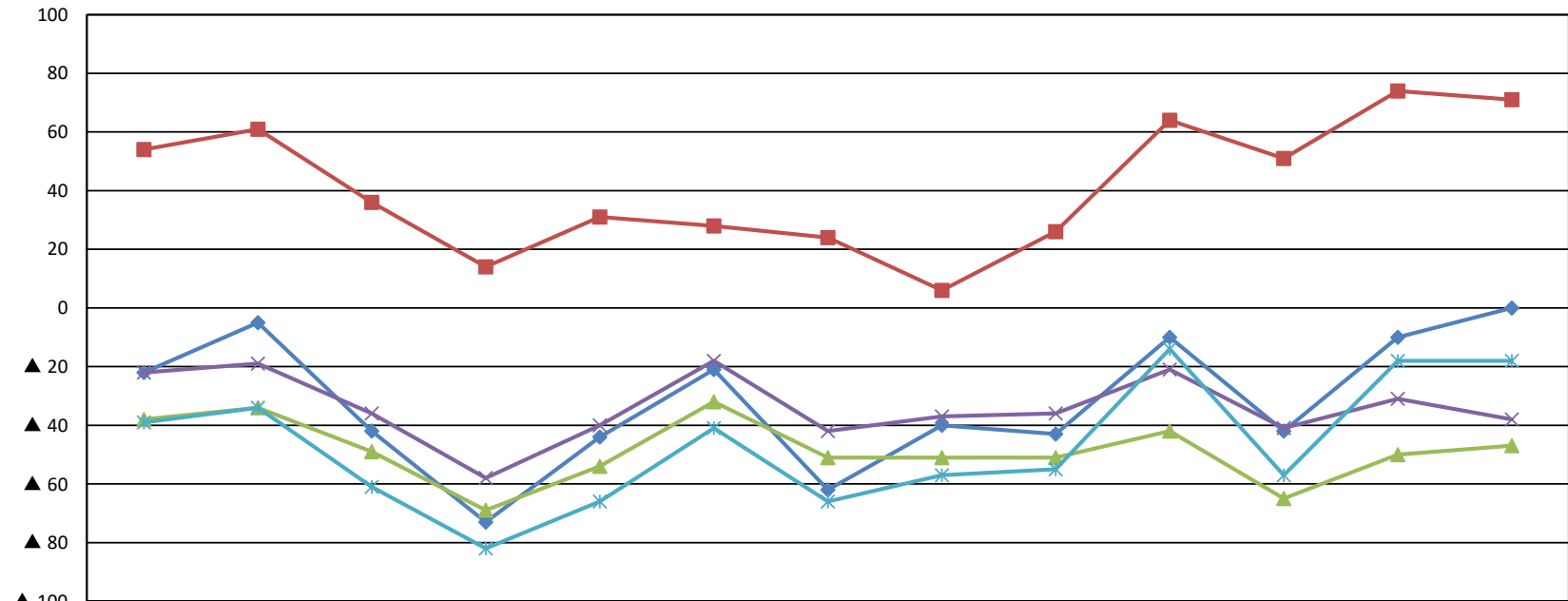
37	食材が入荷しない物がある。（日高・飲食業）
38	仕入れ材料が円安の影響で高騰している。（日高・製造業）
39	お客様の予算内での見積りとなるので、仕入れ金額が上がった分、人件費や利益を減らす事となっている。それ以上に材料費の高騰で、見積りが通りません（日高・建設業）
40	カニを主力商品としているが、例年の2倍以上の仕入れ価格高騰となり、贅沢品ゆえに消費者の買い控えが多くなり売上が減少した。（城崎・小売業）
41	原材料の高騰による利益の悪化。メーカー供給製品の不足による、工事進捗状況の悪化。（出石・建設業）
42	菓子類の販売価格が、高騰している。（城崎・小売業）
43	通勤、業務ともに車での移動が多いためガソリン代、医療機器、消耗品、衛生材料に関しても価格も上がった為5月より価格改定しました。今の所は有り難いことにお客様の人数、来院頻度共に減少しておらず良い状態を保っています。（竹野・サービス業）

【9】自由コメント

1	商工会にお願いします。引き続き、補助金取得や事業再構築の支援をよろしく願いいたします。（日高・製造業）
2	コロナは一定の落ち着きがみられ、改善傾向にむかうことが期待できるが、今後はロシア情勢が冬物商材などにどのような影響を及ぼすか懸念される。（日高・小売業）
3	景気回復はコロナと円高の動向に左右されるため、希望的観測になります。（竹野・建設業）
4	コロナにより令和2年は4月14日から6月末まで、令和3年は5・6月の2ヶ月間を全館休館したが、本年は今のところ通常営業は出来ているが、従業員不足と、感染症対策による定員減での利用によりコロナ前より売上減となっている。（城崎・宿泊業）
5	去年は緊急事態宣言の発令で休業等を余儀なくされた。今期はそれがなかったが、コロナ前と比べるとどうなのかな。コロナ禍でこれなかったお客様が、来ていただけることに期待する。（城崎・飲食業）
6	今後の人口減少に伴い人材の需給バランスが変わることに対して企業側は事業や組織の構造を変えていく必要がある。しかも業績を伸ばして拡大する程そのギャップが大きくなるのではというジレンマもあります。（日高・製造業）
7	円安とインフレと燃料費高騰のトリプルパンチで、先行き不安です（日高・製造業）
8	好転といってもあくまで、前年比。厳しい状況です。（城崎・小売業）

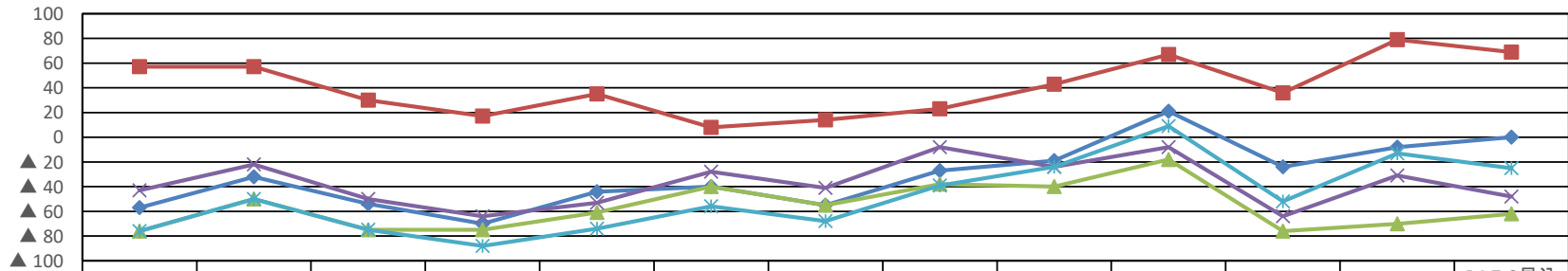
豊岡市商工会管内における3年間の景気動向調査結果

全業種DI推移



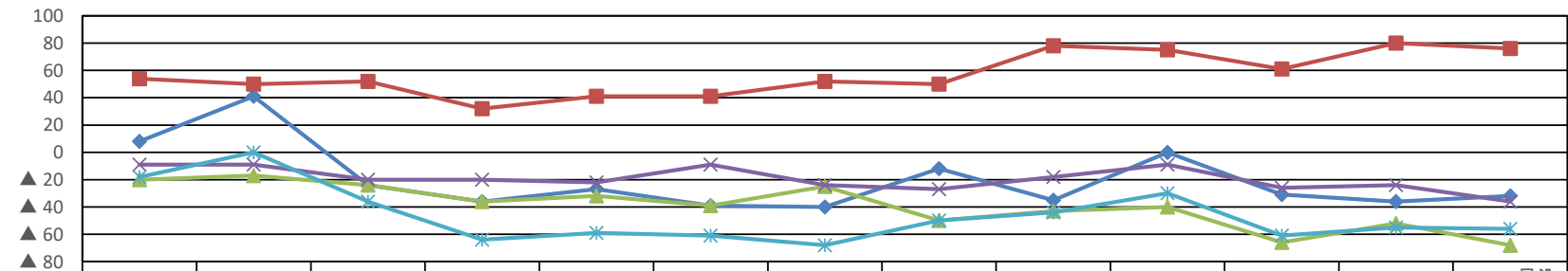
	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9見込み
売上高	▲ 22	▲ 5	▲ 42	▲ 73	▲ 44	▲ 21	▲ 62	▲ 40	▲ 43	▲ 10	▲ 42	▲ 10	0
仕入単価	54	61	36	14	31	28	24	6	26	64	51	74	71
採算性	▲ 38	▲ 34	▲ 49	▲ 69	▲ 54	▲ 32	▲ 51	▲ 51	▲ 51	▲ 42	▲ 65	▲ 50	▲ 47
資金繰り	▲ 22	▲ 19	▲ 36	▲ 58	▲ 40	▲ 18	▲ 42	▲ 37	▲ 36	▲ 21	▲ 41	▲ 31	▲ 38
景況感	▲ 39	▲ 34	▲ 61	▲ 82	▲ 66	▲ 41	▲ 66	▲ 57	▲ 55	▲ 14	▲ 57	▲ 18	▲ 18

製造業DI推移



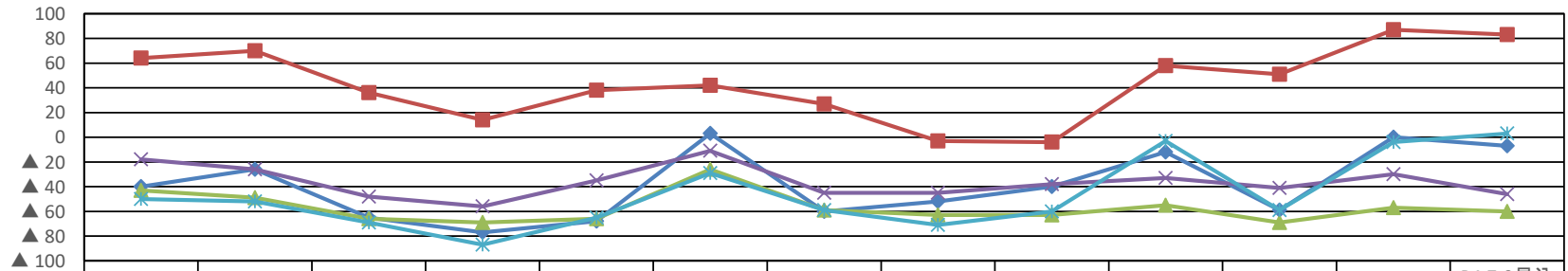
	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9見込み
● 売上高	▲ 57	▲ 32	▲ 54	▲ 70	▲ 44	-40	-55	▲ 27	▲ 19	21	▲ 24	▲ 8	0
■ 仕入単価	57	57	30	17	35	8	14	23	43	67	36	79	69
▲ 採算性	▲ 76	▲ 50	▲ 75	▲ 75	▲ 61	▲ 40	▲ 55	▲ 38	▲ 40	▲ 18	▲ 76	▲ 70	▲ 62
× 資金繰り	▲ 43	▲ 22	▲ 50	▲ 64	▲ 53	▲ 28	▲ 41	▲ 8	▲ 24	▲ 8	▲ 64	▲ 31	▲ 48
* 景況感	▲ 76	▲ 50	▲ 75	▲ 88	▲ 74	▲ 56	▲ 68	▲ 39	▲ 24	9	▲ 52	▲ 13	▲ 25

建設業DI推移



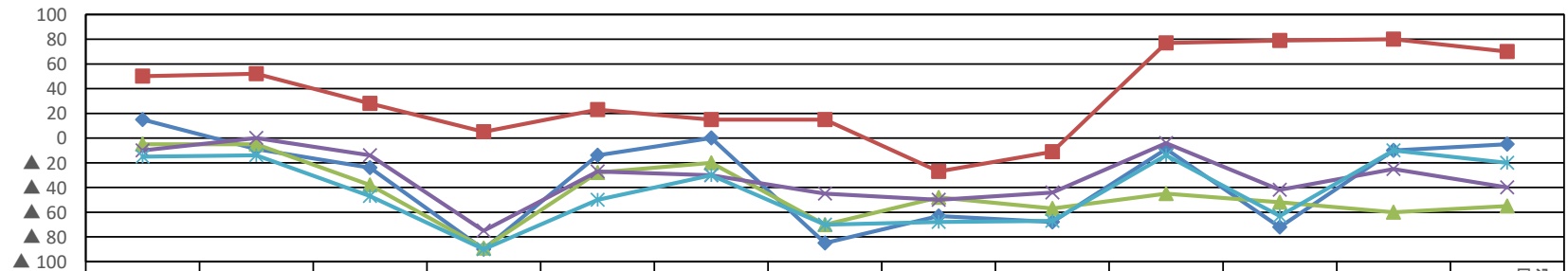
	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9見込み
● 売上高	8	41	▲ 24	▲ 36	▲ 27	▲ 39	▲ 40	▲ 12	▲ 35	0	▲ 31	▲ 36	▲ 32
■ 仕入単価	54	50	52	32	41	41	52	50	78	75	61	80	76
▲ 採算性	▲ 20	▲ 17	▲ 24	▲ 36	▲ 32	▲ 39	▲ 25	▲ 50	▲ 43	▲ 40	▲ 66	▲ 52	▲ 68
× 資金繰り	▲ 9	▲ 9	▲ 20	▲ 20	▲ 22	▲ 9	▲ 24	▲ 27	▲ 18	▲ 9	▲ 26	▲ 24	▲ 36
* 景況感	▲ 18	0	▲ 36	▲ 64	▲ 59	▲ 61	▲ 68	▲ 50	▲ 44	▲ 30	▲ 61	▲ 55	▲ 56

小売業DI推移



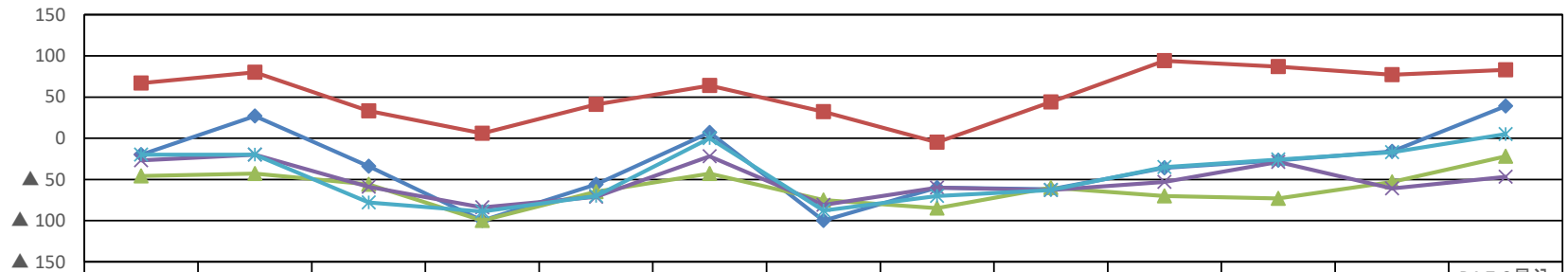
	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9見込み
● 売上高	▲ 40	▲ 26	▲ 65	▲ 77	▲ 68	3	▲ 60	▲ 52	▲ 40	▲ 12	▲ 59	0	▲ 7
■ 仕入単価	64	70	36	14	38	42	27	▲ 3	▲ 4	58	51	87	83
▲ 採算性	▲ 43	▲ 49	▲ 66	▲ 69	▲ 66	▲ 26	▲ 59	▲ 63	▲ 63	▲ 55	▲ 69	▲ 57	▲ 60
× 資金繰り	▲ 18	▲ 26	▲ 48	▲ 56	▲ 35	▲ 11	▲ 45	▲ 45	▲ 38	▲ 33	▲ 41	▲ 30	▲ 46
✧ 景況感	▲ 50	▲ 52	▲ 69	▲ 87	▲ 65	▲ 29	▲ 59	▲ 71	▲ 60	▲ 3	▲ 59	▲ 4	3

飲食業DI推移



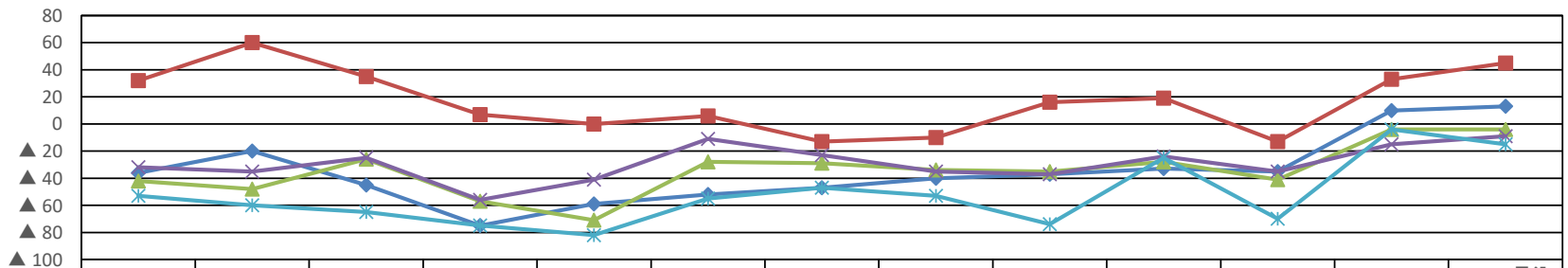
	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9見込み
● 売上高	15	▲ 9	▲ 24	▲ 90	▲ 14	0	▲ 85	▲ 63	▲ 68	▲ 9	▲ 72	▲ 10	▲ 5
■ 仕入単価	50	52	28	5	23	15	15	▲ 27	▲ 11	77	79	80	70
▲ 採算性	▲ 5	▲ 5	▲ 38	▲ 89	▲ 28	▲ 20	▲ 70	▲ 48	▲ 57	▲ 45	▲ 52	▲ 60	▲ 55
× 資金繰り	▲ 10	0	▲ 14	▲ 75	▲ 27	▲ 30	▲ 45	▲ 50	▲ 44	▲ 4	▲ 42	▲ 25	▲ 40
✧ 景況感	▲ 15	▲ 14	▲ 47	▲ 90	▲ 50	▲ 30	▲ 70	▲ 68	▲ 67	▲ 14	▲ 63	▲ 10	▲ 20

宿泊業DI推移



	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9見込み
● 売上高	▲ 20	27	▲ 34	▲ 100	▲ 56	7	▲ 100	-60	▲ 62	▲ 36	▲ 27	▲ 16	39
■ 仕入単価	67	80	33	6	41	64	32	-5	44	94	87	77	83
▲ 採算性	▲ 46	▲ 43	▲ 56	▲ 100	▲ 65	▲ 43	▲ 75	▲ 85	▲ 60	▲ 70	▲ 73	▲ 53	▲ 22
× 資金繰り	▲ 27	▲ 20	▲ 59	▲ 84	▲ 71	▲ 22	▲ 81	▲ 60	▲ 63	▲ 53	▲ 29	▲ 61	▲ 47
＊ 景況感	▲ 20	▲ 20	▲ 78	▲ 89	▲ 70	0	▲ 88	▲ 70	▲ 63	▲ 35	▲ 26	▲ 17	5

サービス業DI推移



	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3	R2.4-6	R2.7-9	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9見込み
● 売上高	▲ 36	▲ 20	▲ 45	▲ 75	▲ 59	▲ 52	▲ 47	▲ 40	▲ 37	▲ 33	▲ 35	10	13
■ 仕入単価	32	60	35	7	0	6	-13	▲ 10	16	19	▲ 13	33	45
▲ 採算性	▲ 42	▲ 48	▲ 26	▲ 57	▲ 71	▲ 28	▲ 29	▲ 34	▲ 35	▲ 28	▲ 41	▲ 4	▲ 4
× 資金繰り	▲ 32	▲ 35	▲ 25	▲ 56	▲ 41	▲ 11	▲ 23	▲ 35	▲ 37	▲ 24	▲ 35	▲ 15	▲ 9
＊ 景況感	▲ 53	▲ 60	▲ 65	▲ 75	▲ 82	▲ 55	▲ 47	▲ 53	▲ 74	▲ 25	▲ 70	▲ 4	▲ 15